

分類	区分	処置	苦痛度のカテゴリー*
疾患モデル動物 (自然発症・遺伝子改変・疾患誘発)	脳・神経	嘔吐	C
		認知症	C
		脳梗塞・虚血	D
		プリオント病	D
		脊髄損傷	D
		末梢神経損傷	D
		末梢神経変性	D
		パーキンソン病	D
	眼	白内障（自然発症）	C
		白内障（薬物投与）	C
		網膜障害	C
		網膜障害誘発	C
	胸腺	胸腺腫	C
	心臓	心筋症	D
		心筋梗塞・虚血	D
	肝	惹起肝・腎障害 ( $\alpha$ -ナフチルイソチオシナート)	D
		肝囊胞 (EHEN)	D
		肝障害 (四塩化炭素)	D
	腎臓	蛋白尿発症	B
		糖尿病	D
		人為的な腎障害	D
		IgA腎症	D
		囊胞腎	D
		腎臓欠損	D
	腸	マウス実験性腸炎	D
		ラット実験胃潰瘍	D
		過敏性腸症候群	D
		家族性大腸腺腫瘍症	D
		ウイルス性下痢症	C
	筋・骨	筋萎縮	D
		大腿骨欠損	D
		筋ジストロフィー	D

(\*苦痛のカテゴリーは最大限の病態が得られることを前提とする。実験に使用する時点で「臨床症状が現れる前の初期段階」あるいは「臨床症状が現れるが、苦痛の程度が低い」場合は、その旨を明記して苦痛度を下げる。)

## 動物実験計画書用苦痛のカテゴリー（2015）

まとめ

分類	区分	処置	苦痛度のカテゴリー*
疾患モデル動物（自然発症・遺伝子改変・疾患誘発）	全身	皮膚障害	C
		肥満	C
		高血圧症（脳卒中モデルを含む）	D
		運動障害	D
		先天奇形	D
		自己免疫疾患	D
		代謝異常疾患	D
		ウィルソン病	D
		中枢神経系に炎症反応を誘引	D
	担がん	担がん	D
	その他	その他健康体に回復出来ない疾患モデル	D

(\*苦痛のカテゴリーは最大限の病態が得られることを前提とする。実験に使用する時点で「臨床症状が現れる前の初期段階」あるいは「臨床症状が現れるが、苦痛の程度が低い」場合は、その旨を明記して苦痛度を下げる。)

分類	区分	処置	苦痛度のカテゴリー
実験的処置	保定・固定	保定	B
		固定	B
		体重測定	B
		耳パンチ（個体識別）	B
	投与・注入	自由摂取（経口摂取）	B
		ゾンデによる経口投与（熟練者）	B
		吸入投与	B
		経鼻投与	B
		内耳注入投与	B
		腹腔内投与	B
		皮下投与	B
		眼内注入（麻酔下）	B
		筋肉内投与（麻酔下）	B
		視神経へ注入（麻酔下）	B
		脳内投与（深麻酔下）	C
		脳室投与（深麻酔下）	C
		静脈内投与（麻酔下）	B
		細胞性免疫アジュバント投与	C
	負荷試験	トレッドミル（回転加速度負荷）	B
		トレッドミル（直線加速度負荷）	B
		振とう負荷	B
		拘束ストレス（短期間）	C
		拘束ストレス（数時間以上）	D
		再灌流負荷（肝臓、脳）	C
		母子分離負荷（マウス、ラット）	C
		水回避ストレス（短期間）	C
	給餌、給水制限	給餌制限(2 - 3 時間)	B
		給餌制限（数時間以上）	C
		給水制限(2 - 3 時間)	B
	採血（麻酔下）	尾静脈採血	B
		耳静脈採血	B
		心臓採血（一部採血）	B

分類	区分	処置	苦痛度のカテゴリー
移植・手術（外科的処置）・その他の医療的行為	移植 (麻酔下)	卵管内移植（胚）	C
		子宮内移植（胚）	C
		臓器内移植(細胞)	C
		臓器移植	D
		膝関節腔内移植	D
		軟骨移植	D
		骨移植	D
	創傷関連（麻酔下）	傷口の縫合	C
		創傷作成（広範囲）	C
		開眼窓	B
	挿管・カテーテル（麻酔下）	気管内挿管	B
		カテーテル／ポンプ留置（短期間）	B
		血管カテーテル留置（長期間）	C
	カニュレーション (麻酔下)	血管内カニュレーション	C
		脳内カニュレーション	C
	埋込み処置 (麻酔下)	テレメトリー埋込み	C
		電極埋込み	C
	切断処置（麻酔下）	頸椎除去	D
		キアリ骨盤骨きり術	D
		視神経の切断	D
	切開（麻酔下）	開腹	D
		開胸	D
		開頭	D
	生検 (麻酔下)	生検（開腹なし）	C
		生検（開腹あり）	D
	摘出 (麻酔下)	摘出（臓器以外：リンパ節、脂肪等）	C
		摘出（臓器：精巣、卵巣、腎臓、肝臓等）	D
	人工授精関連	新生仔蘇生	B
		人工哺育／里仔	B
		採卵（麻酔下）	B
		帝王切開（麻酔下）	B
		精管結紮（麻酔下）	C
		卵管結紮（麻酔下）	C
		動脈結紮（短時間）（麻酔下）	C
		動脈結紮（長時間）（麻酔下）	D
		静脈結紮（短時間）（麻酔下）	C
		静脈結紮（長時間）（麻酔下）	D
	電気刺激	軽微な電気刺激	B
	X線照射（麻酔下）	X線撮影（単純撮影）	B
		X線撮影（造影剤使用）	B
		X線照射（免疫抑制）	C
		X線照射（骨髄の機能破壊）	D